

日時：2025年10月28日（水） 午前

場所：教育センター、School-S

研修内容：広島県立教育センター（School-S）見学

概要：

研修員は教育センターに赴き、教員の方々が実際に研修を行っている様子を見学したほか、センターの概要について説明を受けた。

見学では、教員とメンターが1対1で研修を行う制度に研修員たちは強い関心を示し、「自国でもぜひ導入したい」と話す姿も見られた。

また、「どのような意図でセンターを設置しているのか」「日本の研修制度はどのように運営されているのか」「学校での業務との両立はどうしているのか」など、多くの質問が飛び交った。

教育センターの見学後は、広島県で先進的に導入されている **School-S** の視察も行った。教室内で生徒が自由に遊んだり勉強したりする様子に興味を示し、教育を学ぶ立場として子どもたちとの交流も楽しんでいた。見学中は笑顔も多く見られ、和やかな雰囲気であった。School-S についても多くの質問があり、日本の教育の仕組みや学習環境の工夫について理解を深めていた様子が見られた。



日時：2025年10月28日（火）午後

場所：ミライクリエ大会議室

研修内容：Trend and Caveats in International Cooperation in Education

概要：

吉田教授が前半は Trend and Caveats in International Cooperation in Education という題目で講義を行われた。講義は一方的なものでなく、複数回のディスカッションや質疑応答が行われた。研修員はいくつかのグループに分かれディスカッションを行っていたが、どのグループも議論が白熱していたことが印象的であった。講義の序盤では Global Agenda の視点から教育に関する様々な問題の共有や、再確認が行われた。

後半は Education indicators used in a results Framework-Basics という題目で講義が行われた。Project における指標の作り方の講義の後に吉田教授が6つのグループを2つに分け、A グループと B グループを設定された。それぞれのグループには学年や状況が細かく設定され、そのグループにあった指標を設定するロールプレイが30分間行われた。その後、作成した指標を3名の研修員が発表し、それぞれの指標に対して教授とその他の研修員から指摘や質問が多く寄せられた。

全体として、バングラデシュやカンボジア、ラオスやパキスタン、パプアニューギニアなど、様々な国の研修員がそれぞれの国の背景を踏まえてディスカッションやロールプレイが熱心に行われていた姿が印象的だった。

